

青年部会広報 **絆** - K I Z U N A - No.025 2016.4

(一社)群馬県トラック協会青年部会広報委員会 編集・発行

★ 平成27年度第3回(公社)全日本トラック協会青年部会全国代表者協議会に参加 ★

- 開催日 平成28年2月11日(木)
- 場 所 全日本トラック総合会館
- 参加者 当県1名(総勢56名)

第3回(公社)全日本トラック協会青年部会全国代表者協議会が全国の代表者56名が参加し開催されました。

第一部研修会では、株式会社コヤマ経営 代表取締役 小山雅敬様に「長時間労働抑制に向けて」をテーマに講演いただきました。

その後、小山講師の講演を踏まえ、参加者が8グループに分かれ、「長時間労働抑制に向けた荷主との取り組みについて」、「長時間労働抑制に向けた社内での取り組みについて」をテーマに課題と要因、対策についてグループディスカッションを行い、各グループから発表された内容を踏まえ小山講師に総括していただきました。

また、「青年組織のあり方について」をテーマに参加者が自由討議を行い、現在1年任期と2年任期がエリアによって混在する全国ブロック長の任期を、1期2年で統一、調整することで合意しました。

最後に協議事項として、平成27年度青年部会業務報告、平成28年度青年部会事業計画案について協議を行いました。

第二部交流会では、各都道府県代表者と意見交換を行い、ヒューマンネットワーク構築に向け交流を深めました。
(部会長 佐藤稔也)



★ (公社)全日本トラック協会青年部会全国大会に参加 ★

- 開催日 平成28年2月12日(金)
- 場 所 京王プラザホテル
- 参加者 当県部会員16名(総勢730名)

平成27年度(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会が京王プラザホテルにおいて開催されました。

冒頭の笠原部会長の開会挨拶の後、(公社)全日本トラック協会会長の星野良三氏、自由民主党青年局長・衆議院議員の牧原秀樹氏、国土交通省自動車局貨物課長の萩川直也氏よりご



挨拶をいただきました。

続いて、「青年経営者等による先進的な事業取組に対する顕彰」で本年度受賞された青森県の丸憲運輸(ウイング車を活用した原木輸送システム)と東京都の(株)藤倉運輸(AED搭載トラックの導入)の2社へ表彰状と顕彰金100万円が授与され、顕彰審査委員会委員長の早稲田大学名誉教授杉山雅洋氏の講評後、それぞれの受賞事業者より事業発表が行われました。

次に、(公社)全日本トラック協会青年部会の社会貢献活動として、全国の青年組織から集まった募金を活用して自動車専門課程を有する高等学校へ整備実習用トラックを寄贈するにあたり、本年度寄贈した「静岡県・飛龍高校」、「福岡県・豊国学園高校」の2校を代表して全国自動車教育研究会 理事 安部幹也氏(福岡県・希望が丘高等学校)にレプリカキーを授与しました。

また、平成27年度青年部会活動報告では、笠原部会長から本社会貢献活動並びに平成27年度実施した活動について報告がありました。

研修では、「トラック業界の生産性向上を目指して～人材不足・長時間労働解消に向けて～」をテーマに、日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役・税理士 小坂真弘氏をコーディネーターに迎え、パネリストとしてトヨタライン(株) 代表取締役社長の齋藤和彦氏、桜運輸(株) 代表取締役の細江良枝氏、(株)白馬物流 取締役の堀内貴央氏の青年経営者3名をパネリストに、各社の会社概要や自社での取り組みを紹介し、人材確保・育成について意見を交わしました。

運送業界が直面している「人材確保」、「荷主との運賃交渉術」について、青年経営者3名の取組を聴くことができ、また、コーディネーターが会場の参加者にも質問を投げかけ、各参加者が〇×にて回答する全員参加型のパネルディスカッションとなり、大変参考になる大会内容でした。

(佐波伊勢崎支部幹事 橋本 力)



★ 平成27年度新春研修交流会を開催 ★

- 開催日 2月27日(土)
- 場 所 前橋さくらホテル
- 参加者 来賓5名・歴代正副部会長7名・
部会員42名・その他5名(総勢59名)

平成27年度新春研修交流会が(一社)群馬県トラック協会の堀越副会長様、武井副会長様、原副会長様、佐藤副会長様、石井専務理事様並びに歴代青年部会正副部会長経験者の方々をお招きし、盛大に開催されました。

第一部研修会では、平成27年度活動報告として研修事業をはじめ、絵画コンクール、献血推進活動、東日本大震災被災地支援、ホリデーインまえばしなど、次年度多くの方に参加協力していただこうと熱意のこもった報告が各委員会からありました。

そのなかで、広報委員会が発表した、危険箇所・休憩場所の情報提供サービスについての報告の際には、多くの方が日常業務の中で事故防止に役立てようと真剣に聞いていました。

その後、特別講演として「我が社の安全活動と人材育成」と題し、(一社)群馬県トラック協会武井宏副会長様から、安全第一主義の取り組みや、物流業界の発展に向けて大変参考になるお話をさせていただきました。

第二部交流会では、歴代青年部会正副部会長経験者の皆様を代表して今成元部会長にご挨拶を賜り、当時の青年部会の活動についての貴重なお話しをお聴きすることができ、参加した部会員との交流が図れるなど、大変賑やかで楽しい時間を過ごすことができました。

なお当日は、(公社)全日本トラック協会青年部会が社会貢献活動として行っている「自動車教育課程を有する高等学校支援・整備実習用のトラック寄贈チャリティ募金」に協賛し、39,505円もの募金が集まりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。(大間々支部幹事 小堀孝之)



★ 東日本大震災被災地支援森の長城プロジェクトへの寄付 ★

当青年部会では、社会貢献事業の一環として、震災発生後から始めた東日本大震災被災地支援活動を継続して行うにあたり、「現地ボランティア活動」、「チャリティグッズ販売支援」等いくつか案を出し、検討してきました。

しかし、現地でのボランティア活動を行うにも検討する時間が短く、ボランティア活動を募集している団体や期間等の問題があるため、昨年渋川支部青年部会で参加した宮城県岩沼市の「千年希望の丘」整備をはじめとする東日本沿岸一帯の防潮林づくりを支援する「森の長城プロジェクト」へ100,000円を寄付させていただきました。

森の長城プロジェクトとは、5年前に発生した東日本大震災で津波により甚大な被害を被ったことを教訓に沿岸部に苗木を植え、20年後、苗木が成長し巨大な防潮林を作ることで津波の猛威をやわらげ、次世代を担う子供たちを守るために「災害からいのちを守る森」を1ヶ所でも多く増やしていく活動であり、この歴史的なプロジェクトは、千年後の子供達に残すため、岩手、宮城、福島東北三県が率先して行っている事業です。

今回は、寄付という形で協力させていただきましたが、本年度は、現地整備復興支援の参加に向け検討を重ねておりますので、実施の際は奮ってご参加、ご協力をお願いいたします。(総務委員長 高橋利光)

🌟 各支部青年部会活動 🌟

前橋支部・佐波伊勢崎支部 交通遺児等育成基金寄付金への感謝状贈呈
平成28年1月7日(木)



前橋支部 交通安全教室
平成28年3月10日(木)



佐波伊勢崎支部 玉村町産業祭
平成27年11月15日(日)



■ 平成28年度上半期活動スケジュール ■

4月 1日(金)	第21回働くトラック絵画コンクール募集開始	
5月22日(日)	第14回(平成28年度)トラックの森づくり事業	前橋市嶺公園内トラックの森
6月24日(金)	第21回働くトラック絵画コンクール募集締切	
6月25日(土)	(公社)全日本トラック協会青年部会関東ブロック大会	栃木県(ホテルマイステイズ宇都宮)
6月26日(日)	関東トラック協会青年部会チャリティゴルフ大会	栃木県(宮の森カントリー倶楽部)
7月1日(金)~8月31日(水)	平成28年度第1回献血推進月間	前橋・高崎・太田献血ルーム

※ 詳細は、随時、青年部会ウェブページ <http://www.gta.or.jp/seinen/index.html> に掲載しています。

■ 新規加入部会員 平成28年3月現在 170名 ■

	会社名	花澤運輸倉庫㈱	氏名	花澤 健太郎	支部	高崎支部
	部会員への一言		部会員の皆様どうぞよろしくお願ひします。			
	会社名	みどり運送㈱	氏名	鈴木 修司	支部	高崎支部
	部会員へ一言		まだ知識も経験も浅いですが頑張ります。 よろしくお願ひします。			

新規加入部会員募集

群ト協青年部会では新規部会員を随時募集しています。
 青年経営者のための研修事業や交流事業、社会貢献事業等の活動を展開していますので、青年部会に興味のある方は、事務局または青年部会幹事までお気軽にご連絡下さい。
 みなさまのご参加をお待ちしています。

※入会申込書は青年部会ウェブページよりダウンロード出来ます。(事務局Tel027 - 261 - 0244)



お勧めのSNS

月刊誌「致知」



月刊誌『致知』を発刊する致知出版社より facebook ページをお勧めしたいと思います。
 毎日、各界一流の方々の「一日一言」、「3分で読める感動する話」、また書籍やイベント情報など人間力・仕事力が高まる情報を配信しています。ぜひ、アクセスしてみてください。きっと何かの役に立つと思います。

(大泉支部幹事 井戸口肇)



第21回 働くトラックの絵 コンクール作品募集



趣 旨 未来を背負って立つ小学生を対象としてトラックに関する絵画を募集することにより、愛され親しまれるトラックのイメージを持っていただくことを目的としています。

また、交通事故ゼロ・地球環境保全・東日本大震災復興支援・業界のイメージ向上への思いから、交通安全・環境保全・道路美化標語や被災地・業界応援メッセージも募集することにより、交通安全推進・環境保全活動・被災地支援活動・業界のイメージアップ活動に活用していきます。

応募資格 群馬県内の小学生

テ ー マ 「働くトラック、未来のトラック」の絵を描こう！自分で考えた「交通安全標語」・「環境保全標語」・「道路美化標語」・「被災地への応援メッセージ」・「業界への応援メッセージ」のどれか1つを入れて下さい。

※「標語」か「メッセージ」のないものは、審査対象になりません。

標語・メッセージテーマ例：「ポイ捨て禁止」・「エコドライブ」・「安全運転」等

- 応募方法**
- ① 画用紙は四つ切りサイズ。(縦 380mm × 横 540mm)
 - ② 画用紙の裏に、住所、氏名(漢字・ふりがな)、電話番号、学校名、学年を必ず記入して下さい。
※ご記入された個人情報は当コンクール及び当トラック協会の広報活動以外の目的で使用しません。入賞者については、展示の際等に学年・氏名(ふりがな)のみ表示します。
なお、応募作品に係る一切の権利は、無償にて主催者に帰属します。
 - ③ 応募は一人一作品に限ります。作品は返却できません。
 - ④ 作品は各支部担当者に連絡しお渡し下さい。

応募締切 平成28年6月24日(金)迄

審 査 主催者が審査のうえ各賞(最優秀賞・選考員特別賞・優秀賞・入選)を決定します。入賞者には賞状・副賞を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を進呈します。

展示・表彰 第42回ホリデーインまえばし(8/21日(日)前橋市敷島公園)で展示会と表彰式を開催予定。

主 催 一般社団法人群馬県トラック協会青年部会 (問い合わせ先：事務局 TEL027-261-0244)



第20回(平成27年度)最優秀賞作品



展示会(第41回ホリデーインまえばし)



表彰式(第41回ホリデーインまえばし)